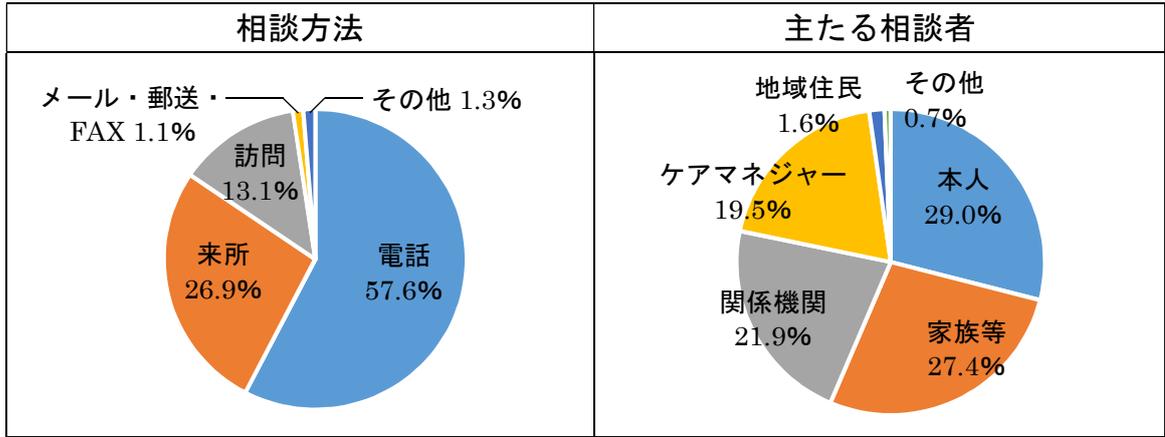


1. 地域包括支援センター相談状況について

(1) 令和6年度地域包括支援センター相談統計（令和6年4月～令和7年3月）

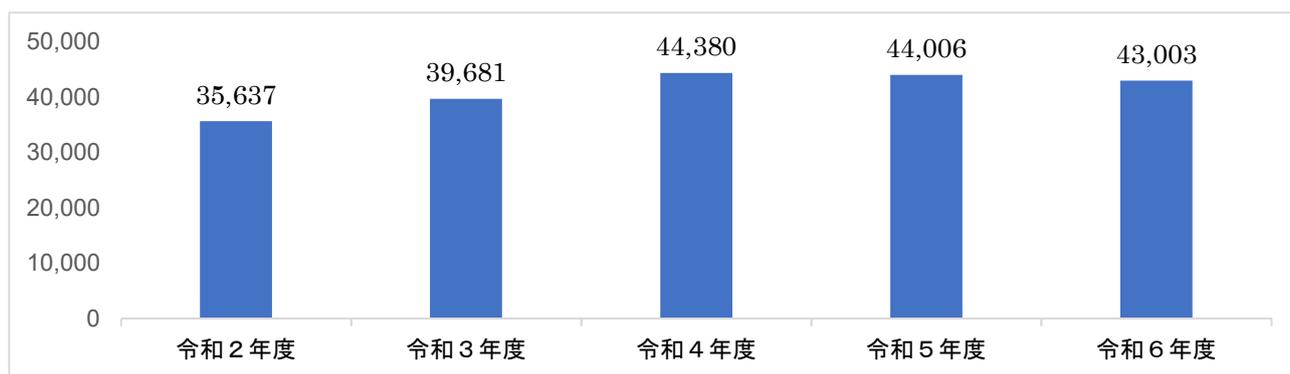


件数		菊	東部	中央	ふくろう	医師会	いけよん	アトリエ	西部	合計
65歳以上 高齢者人口	高齢者人口※1	7,379	7,915	7,450	6,349	5,870	5,486	7,697	8,121	56,267
	高齢化率	20.2%	19.7%	17.8%	17.6%	16.6%	18.5%	21.1%	21.1%	19.1%
	高齢者人口全体に対する割合	13.1%	14.1%	13.2%	11.3%	10.4%	9.7%	13.7%	14.4%	100.0%
相談方法	来所	1,486	1,731	1,029	1,211	845	1,138	1,698	2,412	11,550
	電話	3,386	4,778	3,149	1,764	3,118	2,190	2,684	3,721	24,790
	訪問	1,147	673	584	446	445	388	659	1,296	5,638
	メール・郵送・FAX	31	36	33	19	197	35	30	91	472
	その他(※2)	80	125	12	57	54	87	59	79	553
	計	6,130	7,343	4,807	3,497	4,659	3,838	5,130	7,599	43,003
主たる相談者	本人	2,471	1,780	1,420	1,064	1,059	917	1,290	2,474	12,475
	家族等	1,448	1,946	1,276	1,092	1,327	1,105	1,442	2,142	11,778
	地域住民	108	92	133	66	59	54	104	68	684
	ケアマネジャー	918	1,404	703	689	922	884	1,318	1,549	8,387
	関係機関	1,082	2,055	1,263	575	1,287	859	919	1,358	9,398
	その他	103	66	12	11	5	19	57	8	281
	計	6,130	7,343	4,807	3,497	4,659	3,838	5,130	7,599	43,003

※1 高齢者人口は令和7年1月1日現在

※2 休日夜間相談や出張相談の一部を含む

(2) 地域包括支援センターの相談件数の推移（令和2年度～令和6年度）



※地域包括支援センターの相談件数を令和2年度から示した。令和2年度以降は、相談者の状況を鑑み、アウトリーチ的に相談の機会を拡充している。（呼びかけ事業、夜間緊急・休日電話相談窓口、区民ひろば等出張相談など）

(3) 相談内容延べ件数の推移

年度	2	3	4	5	6
介護保険	16,292	19,268	21,872	22,162	21,290
介護予防プラン及び 新予防給付プラン関連	3,003	3,236	3,691	3,672	3,891
介護予防事業関連	311	557	1,099	775	710
一般施策(※1)	3,560	4,327	4,904	5,419	6,025
医療・看護・保健	7,826	10,551	12,917	12,143	11,480
権利擁護	1,573	2,288	1,814	1,591	2,385
虐待	1,036	817	677	1,390	1,670
生活・経済について(※2)	7,688	8,738	10,412	10,410	10,410
障害者制度について	149	218	138	148	176
介護保険と一般施策以外のサー ビスに関する相談(在宅サービス)	470	602	800	809	699
その他(※3)	1,554	1,636	3,314	1,647	1,679
認知症	3,304	4,174	5,094	4,801	5,269
計	46,766	56,412	66,732	64,967	65,684

- ※1 紙おむつ支給、おむつ購入費助成、福祉電話の貸出し、救急通報システム、救急医療情報キット、火災安全システム、寝具乾燥、出張理美容、高齢者あんしん位置情報サービス、高齢者補聴器購入助成、自立支援住宅改修、車椅子短期貸出の相談・申請 等
- ※2 生活保護、アパート立ち退き、ごみ、近隣関係、住まい（介護保険外の施設、養護老人ホーム、安心住まい等）
- ※3 苦情、関係機関からの情報提供（実態調査票の受け渡しなど）

(4) 高齢者の夜間緊急・休日相談窓口

令和3年度に地域包括支援センターの開設時間外において、高齢者及びその家族や関係機関からの電話相談や通報に対応するため、電話相談窓口を設置。

毎年センター案内冊子を15,000部作成し、本人や家族、地域関係者、関係機関に配布。他、事業チラシを各区民ひろばに掲示・配布している。令和6年度は高齢者クラブ指導者研修で50部、介護予防イベントで800部配布した。

■ 夜間緊急・休日相談窓口入電数

令和4年度	令和5年度	令和6年度
184	223	234

■ 令和6年度 相談内容別件

問い合わせ等	包括・ケアマネと連絡がとりたい 近隣・友人から最近の様子についての相談 警察から対象者の問い合わせ カード・通帳の紛失について	102
健康相談	健康に関する相談	84
安否・身元確認、 対応依頼	徘徊者の対応依頼 身元照会、安否確認通報 介護者の体調不良、預け先の相談 救急搬送の事後対応	20
介護に関すること	介護、認知症状についての相談 施設入所、退院後の生活について 介護保険認定申請について	12
話を聞いてほしい	独居で今後の生活が不安 認知症と思われる方の対応について	10
事務連絡	包括間、包括から区へ連絡を取りたい 救急隊から包括へ報告したい	4
住宅に関すること	転居先についての相談窓口はないか 集合住宅で水が詰まった	2

■ 令和6年度 相談者別件数

不明・匿名	163
本人	27
警察署・消防署	12
家族・親族	11
区役所職員・包括職員	8
友人・知人・近隣	7
病院	3
民生委員	1
介護関係者	1
配食サービス	1

■ 地域包括支援センター対応件数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
電話対応	13	9	4
出勤対応	7	3	2
合計	20	12	6

■ 相談・対応事例

① 交番署員より入電(土曜・閉所後)

圏域在住の高齢者が救急搬送された。

⇒ 肩の骨折にて入院が決まり、包括と警察で入院準備を支援

② 救急外来より入電(休日)

外出時に転倒し救急搬送後に帰宅することとなったが、転倒の危険性があり一人で帰せない状況

⇒ 包括が病院からタクシーで帰宅した本人を自宅で迎え、2階の階段をのぼり自宅に入るまで介助を行った

③ 区内クリニック看護師より入電(平日・閉所後)

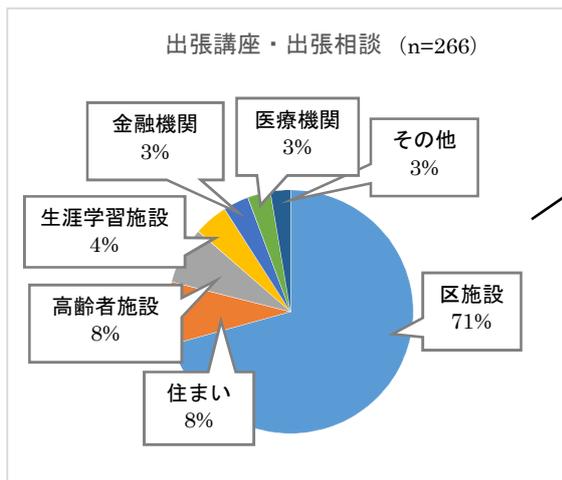
来院した患者が一人で自宅に帰れず対応に困っている

⇒ 包括が訪問し本人に臥床いただき、その後訪問看護利用についてケアマネ手配となった

(5) 出張相談・出張講座

令和3年度から地域包括支援センター職員による区民ひろばへの出張相談を開始した。高齢者にとって身近な場所で、介護保険や認知症、権利擁護等の「高齢者に関する専門的な相談」への対応が可能となった。また、区民ひろば職員やCSWと連携を図り、気になる高齢者への見守り体制の強化とともに、高齢者の家族や近隣住民等からも相談できる体制を整えた。令和6年度からは圏域の地域特性や実情にあわせて、区民ひろば以外にも出張相談・出張講座の開催場所を拡大し、関係機関との連携強化を図っている。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実施回数	499	468	266
相談者数	548	453	365
相談者数（一回あたり）	1.09	0.96	1.37



- ・区施設 : 区民ひろば、区会議室、小学校、体育館など
- ・住まい : マンション、都住、福祉住宅
- ・高齢者施設 : 特別養護老人ホーム、デイサービス
- ・生涯学習施設 : 地域文化創造館等
- ・その他 : 町会事務所、大学、コミュニティカフェなど

(6) 令和6年度アウトリーチ事業相談統計（令和6年4月～令和7年3月）

件数		菊	東部	中央	ふくろう	医師会	いけよん	アトリエ	西部	合計
65歳以上 高齢者人口	高齢者人口	7,379	7,915	7,450	6,349	5,870	5,486	7,697	8,121	56,267
	高齢化率	20.2%	19.7%	17.8%	17.6%	16.6%	18.5%	21.1%	21.1%	19.1%
	高齢者人口全体に 対する割合	13.1%	14.1%	13.2%	11.3%	10.4%	9.7%	13.7%	14.4%	100.0%
相談方法	来所	1,002	1,311	1,257	1,076	990	1,013	1,418	1,198	9,265
	電話	632	919	1,195	1,453	1,437	805	1,020	1,223	8,684
	訪問	584	586	244	588	516	604	844	468	4,434
	その他	1,053	1,324	1,218	1,405	1,286	929	1,028	1,050	9,293
	計	3,271	4,140	3,914	4,522	4,229	3,351	4,310	3,939	31,676
主たる相談者	本人	1,942	1,969	1,676	2,239	1,848	1,495	2,310	1,705	15,184
	家族・親族	325	405	449	473	513	299	393	479	3,336
	近隣・知人	17	35	50	51	54	55	34	103	399
	行政関係者	267	553	357	555	531	440	116	331	3,150
	関係機関	47	42	119	198	95	118	142	162	923
	民生・児童委員	516	861	1,063	778	763	716	958	846	6,501
	医療機関・介護事 業者等	140	259	193	228	326	222	320	294	1,982
	見守りボランティ ア等（NPO等 地域団体を含む）	9	9	0	0	1	3	0	2	24
	その他	8	7	7	0	98	3	37	17	177
	計	3,271	4,140	3,914	4,522	4,229	3,351	4,310	3,939	31,676

※ 高齢者人口は令和7年1月1日現在

(7) 令和6年度地域包括支援センター事業実績（令和6年4月～令和7年3月）

件数		菊	東部	中央	ふくろう	医師会	いけよん	アトリエ	西部	合計	
包括的支援事業	訪問による実態把握延べ件数	1,147	673	584	446	445	388	659	1,296	5,638	
	ケアマネジャー相談延べ件数	918	1,404	703	689	922	884	1,318	1,549	8,387	
	個別ケース検討会議開催回数	8	19	20	29	15	6	17	25	139	
	元気はつらつ報告会開催回数	3	1	4	3	3	3	3	3	23	
	地区懇談会開催回数	4	4	5	3	3	2	2	3	26	
	出張講座・出張相談の開催回数	24	31	33	34	19	33	59	33	266	
	地域における会議体への出席回数	7	7	12	27	31	14	37	18	152	
	多職種連携会議関連	4	7	6	4	4	13	3	6	47	
	地域活動への参加(会議以外)	2	0	0	6	3	11	0	3	25	
指定介護予防支援事業	予防給付プラン3月請求件数	158	179	180	143	158	119	223	239	1,399	
	包括作成・委託別内訳	包括作成件数	89	104	77	66	86	56	115	86	679
		委託件数	69	75	103	77	72	63	108	153	720
第1号介護予防支援事業	予防ケアマネジメント3月請求件数	111	69	57	55	66	62	88	114	622	
	包括作成・委託別内訳	包括作成件数	70	42	26	25	40	34	50	54	341
		委託件数	41	27	31	30	26	28	38	60	281

(8) 包括的・継続的ケアマネジメント支援について（令和6年度）

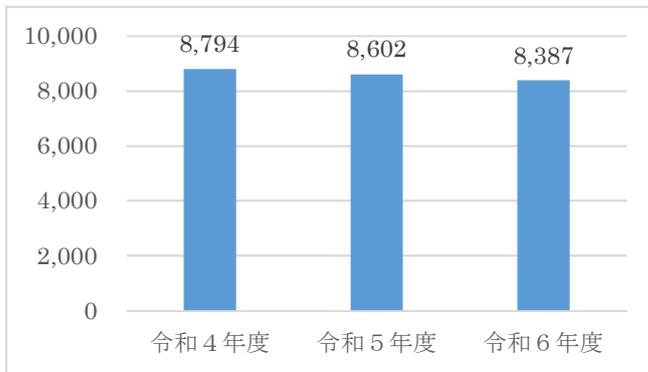
① 豊島区内居宅介護支援事業所のケアマネジャー数等の推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ケアマネジャー(人)	208	203	199
主任ケアマネジャー	80	84	89
事業所総数(件)	75	68	64
ケアマネ1人の事業所	21	19	18

各年度の数 は 7月1日時点

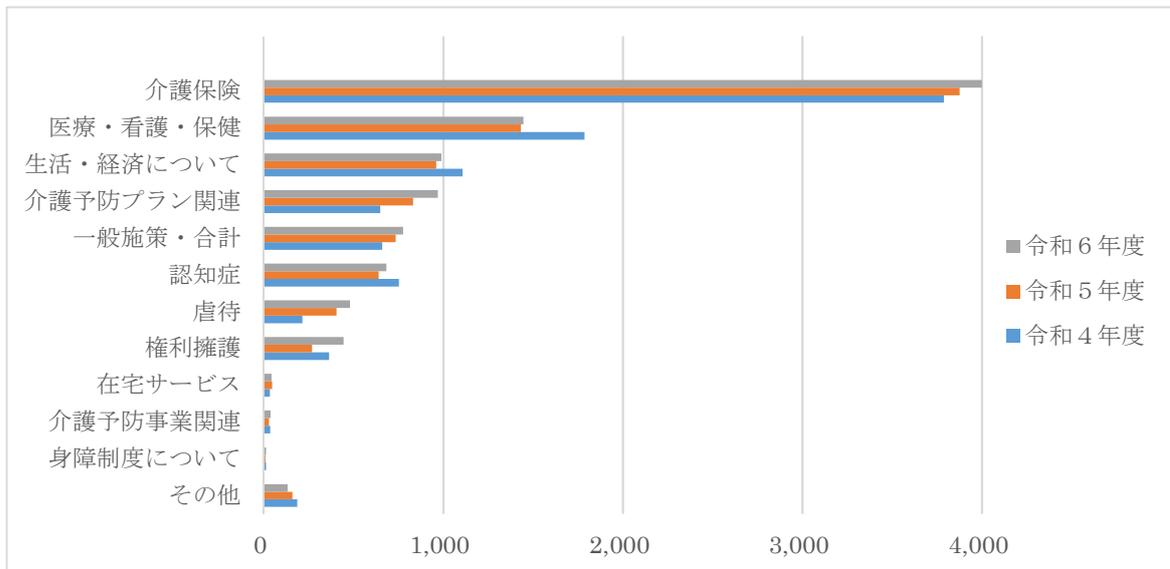
② ケアマネジャー相談件数

総合相談のうち、主たる相談者がケアマネジャーである相談件数の推移



相談者の背景を上記の表に一部示した。居宅介護支援事業所のケアマネジャー数、事業所総数は年々減少傾向にある。全数に占める主任ケアマネジャーの割合は45%、事業所の管理者が主任ケアマネジャーである割合は84%に到達した。

ケアマネジャー相談内容内訳の推移



相談件数は3か年ともに8,000台で大きな変化はない。相談内容の内訳については①介護保険(40%) ②医療・看護・保健(14%) ③生活・経済(10%)の相談で全体の6割以上を占め、過去3年間の傾向に変化はなかった。一方、権利擁護や虐待の相談件数は昨年よりやや増加している。

③ 包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築

圏域ごとの多職種連携によるネットワーク構築や、全圏域に配置された生活支援コーディネーター・CSW等との連携により、地域包括支援センターがかかわる地域資源の広がりが見られ、地域ぐるみで問題解決に向けた取り組みを行っていることがわかる。

項目	内容
関係機関との連携作り	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>第2層生活支援コーディネーターやCSWとの連携</u> 地域課題の共有 / サロン活動の立ち上げ・運営支援 / サポーターの発掘 ○<u>地区懇談会等にて在宅系サービス事業所とのネットワーク構築</u> 「生活保護制度」の理解、連携等の方法 / 「権利擁護に関する支援」について連携の在り方と大概の役割の理解 / 「担い手不足」をテーマに地域課題の共有やネットワーク構築 ○<u>ケアマネ研修会にて警察や他課との連携</u> 特殊詐欺と悪質商法の被害防止（警察・消費生活センター） / 障害を持つ方の支援（障害福祉課） / ヤングケアラーの支援と取組（子ども家庭支援センター） / 虐待防止 ○<u>金融機関との連携</u> 「認知症の勉強会」開催 ○<u>子どもスキップとの連携</u> 小学生を対象に「認知症サポーター養成講座」開催
医療機関との連携体制作り	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>多職種連携会議による連携</u> 災害時対応 / 消防の視点から見た要配慮者宅訪問のポイントの勉強会 / 区民向けイベント開催（福祉用具と訪問入浴の展示・実演） / 包括の活動報告を通して地域の医療職との連携 ○<u>地域の専門医との連携</u> 出張相談会の開催 / 「在宅医療の勉強会」の講師を依頼 / 薬剤師会による紹介薬局との連携 ○<u>認知症地域連携拠点との連携</u> 「認知症支援講座」開催 ○<u>近隣や区内医療機関と入退院支援による連携強化</u> 在宅支援申込書「つなげるシート」を包括共通様式として試験運用し、医療機関との情報の共有・連携に活用 / 医療機関とケアマネジャーの連携体制の構築 ○<u>MC Sの活用による情報連携の円滑化</u>

地域のインフォーマルサービスとの連携作り	<p>○<u>地域の自主グループやつながるサロンとの連携</u> サロン立ち上げ・運営支援 / 相談会や孤食予防の交流会開催</p> <p>○<u>生活支援コーディネーターと包括の協働</u> 地域の有料老人ホームを地域の交流の場として活用 / 施設や店の協力を得て「すずめるマップ」を作成し、「すずめる大作戦」開催</p> <p>○<u>町会役員会との連携</u> 広報活動 / 「見守り支援講座」開催、地域包括支援センターの周知活動</p>
介護支援専門員支援	<p>○「ケアマネジャー研修会」開催</p> <p>○「ケアマネジャー地区懇談会」開催</p> <p>ケアマネジャーが抱える課題について懇談・地域資源の情報共有</p>

※介護支援専門員向け研修会・勉強会の実施については、

- ・別紙「令和6年度 包括主催ケアマネジャー研修一覧」参照。
- ・豊島区全体でケアマネジャー研修は、上記包括での研修以外に高齢者福祉課6回、介護保険課10回、地域保健課6回開催し、年間37回実施している。

2. 運営事業委託実施報告・実施計画

(1) 令和6年度実績報告

① 委託事業所8事業所

(ア) 菊かおる園地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
(イ) 東部地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
(ウ) 中央地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区民社会福祉協議会)
(エ) ふくろうの杜地域包括支援センター	(社会福祉法人	敬心福祉会)
(オ) 豊島区医師会地域包括支援センター	(公益社団法人	豊島区医師会)
(カ) いけよんの郷地域包括支援センター	(社会福祉法人	フロンティア)
(キ) アトリエ村地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
(ク) 西部地域包括支援センター	(社会福祉法人	フロンティア)

② 委託料予算額及び執行額

令和6年度	金額	内訳	備考
予算	395,238,920 円		・令和3年度より、夜間・休日等の相談に対応するため、委託料(単価契約分)を増額した。 ・令和3年度より、訪問、出張相談、介護予防推進支援、見守り強化のため、各地域包括支援センター1名の非常勤職員の職員経費分を増額した。
執行額	391,976,600 円	① 57,137,740 円 ② 51,634,240 円 ③ 51,167,740 円 ④ 50,359,740 円 ⑤ 49,985,240 円 ⑥ 48,260,420 円 ⑦ 45,644,740 円 ⑧ 37,786,740 円	
執行残	3,262,320 円		執行率 99.2%

(2) 令和7年度実施計画

① 委託事業所8事業所

(ア) 菊かおる園地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)

(イ) 東部地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)

※令和7年4月より区民ひろば駒込内にサブセンターを設置

(ウ) 中央地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会)

(エ) ふくろうの杜地域包括支援センター (社会福祉法人 敬心福祉会)

(オ) 豊島区医師会地域包括支援センター (公益社団法人 豊島区医師会)

(カ) いけよんの郷地域包括支援センター (社会福祉法人 フロンティア)

(キ) アトリエ村地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)

(ク) 西部地域包括支援センター (社会福祉法人 フロンティア)

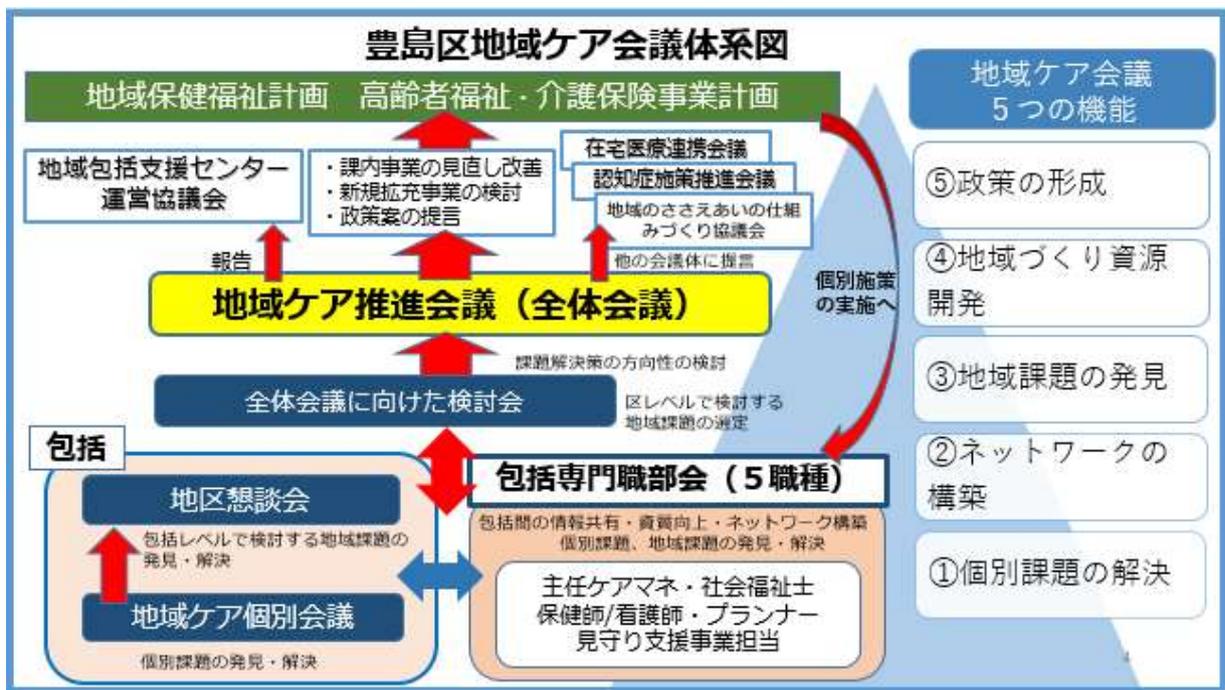
② 委託料予算額

令和7年度	金額	内訳	備考
予算額	406,359,720 円		
総価分	401,351,720 円	① 53,814,500 円 ② 53,600,520 円 ③ 52,756,500 円 ④ 52,026,840 円 ⑤ 50,181,840 円 ⑥ 48,389,840 円 ⑦ 45,218,840 円 ⑧ 38,362,840 円 ⑨ 7,000,000 円	
単価分	5,008,000 円	@500,000×8 事業所 @126,000×8 事業所	

3. 地域ケア会議・予防プラン等の状況について

(1) 地域ケア会議について

- 豊島区地域ケア会議体系図は下記のとおりである。令和3年度より、包括専門職等による協議の場が設けられ、縦横断的に地域課題に取り組む体制を整備している。
- 令和4年度からは、包括主催「地区懇談会」と「全体会議に向けた検討会」で取り上げるテーマ（地域課題）が連動する形で検討され、地域の介護・福祉事業所職員など課題に関わる関係者等も参画し議論を深めている。
- 令和6年度は前年度に引き続き「インフォーマルな担い手」について、関係機関にも参画いただき、「住民主体の支え手」、「専門性のある支え手」の検討を行った。



① 地域ケア個別会議

(ア)「元気はつらつ報告会」(自立支援地域ケア会議)

高齢者の「本人らしい生活」の実現に向けて多職種の専門的な視点に基づく検討を行う。

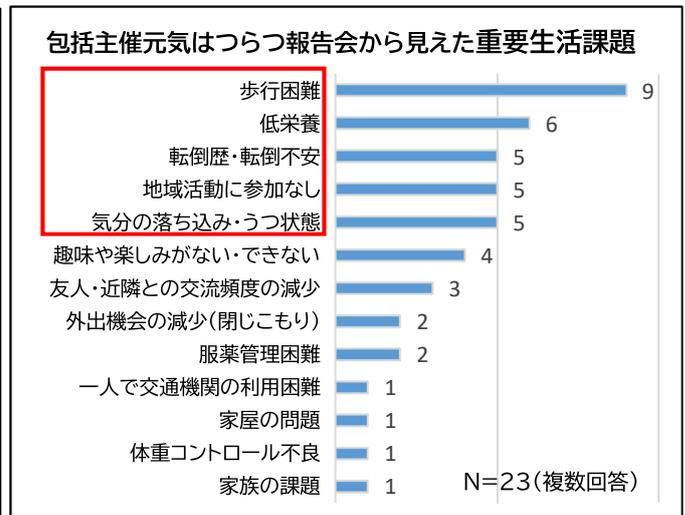
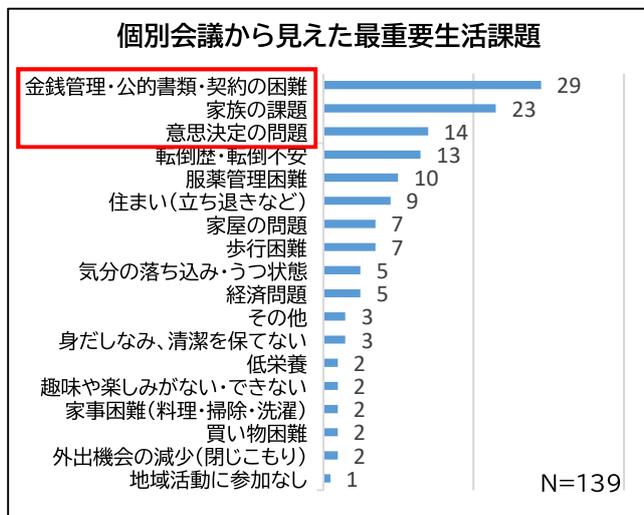
(イ)「生活援助ケアプラン地域ケア会議」(区主催)

厚労省が定める回数以上の回数の訪問介護(生活援助)を位置付けたケアプランについて、自立支援・重度化防止の観点から多職種で検討を行う。

(ウ)「個別会議」(地域包括支援センター主催)

支援困難ケースの課題検討、ケアマネジャー等の関係者支援を行う。

地域ケア個別会議		(ア) 元気はつらつ 報告会	(イ) 生活援助 ケアプラン 地域ケア会議	(ウ) 個別会議	総計
包括 主催	菊	3	—	8	11
	東部	1	—	19	20
	中央	4	—	20	24
	ふくろう	3	—	29	32
	医師会	3	—	15	18
	いけよん	3	—	6	9
	アトリエ	3	—	17	20
西部	3	—	25	28	
区主催		2	0	—	2
総数		25	0	139	164



個別会議では困難事例を取り上げることが多く、金銭管理や公的書類・契約の困難、家族の課題、意思決定の問題など、地域での生活継続が困難になる課題が最重要生活課題として上位に挙がっている。家族の課題では、老障世帯や老老・認認等介護力に乏しい世帯など、複合的な課題に対応する事例が見受けられる。一方、元気はつらつ報告会では、地域で「自分らしい生活」の実現に向けて障害となっている課題が挙がるため、健康や生きがい、楽しみを阻害する生活課題が上位に挙がっている。

② 地域ケア推進会議

(ア) 「地域ケア会議全体会議」(区主催)

区レベルで、地域課題解決策の方向性を検討し、地域づくり・資源開発、政策の形成を目指す。

(イ) 「全体会議に向けた検討会」(区主催)

全体会議で検討する地域課題の分析・選定を行う。令和5年度より「評価検討会」(元気はつらつ報告会の効果や地域課題の分析を行う会議)を検討会に位置づけた。

(ウ) 「地区懇談会」(地域包括支援センター主催)

地域の課題を共有し、多職種・多機関の連携による包括的な支援や、地域連携、ネットワークづくりを行う。

地域ケア推進会議 (区主催)			
(ア) 全体会議	(イ) 全体会議に向けた検討		総計
	上記の検討会	評価検討会	
1	11	1	13

種別		(ウ) 地区懇談会
地域ケア 推進会議	菊	4
	東部	4
	中央	5
	ふくろう	3
	医師会	3
	いけよん	2
	アトリエ	2
西部	3	
総計 (回)		26

(2) センター長連絡会

各地域包括支援センター間のよりスムーズな連携、情報の一元化等を目指して、各センター長を招集する会議。毎月1回、1時間30分程度、事務連絡の他、全体で打ち合わせを必要とする課題について検討を行っている。

関係機関からの要請による事業説明や連絡事項のほか、課題にかかわる担当者にも出席を依頼し実施している。

回	実施日	内容
第1回	4月16日	<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年度熱中症対策事業と高齢者実態調査について ○地域包括支援センター運営方針・概要版について ○介護保険課 給付グループより 介護予防サービス計画作成・介護予防ケアマネジメント依頼(変更)届出書の改正について
第2回	5月21日	<ul style="list-style-type: none"> ○一般施策の申請にかかる留意事項 ○区主催のケアマネジャー研修の案内/主任介護支援専門員更新研修について ○福祉総務課 入居相談グループより つつじ苑入居申し込みの案内

回	実施日	内容
第3回	6月18日 オンライン 開催	○介護予防把握事業について ○高田介護予防センター移転について ○介護予防・介護予防ケアマネジメント再委託時の注意事項
第4回	7月16日	○認知症サポート医地域連携促進事業の開始について ○障害福祉課 心身障害者福祉センターより 心身障害者福祉センターで行っている支援者向け相談事業 のご案内 ○明治安田生命池袋支社より 包括センターとの協働 取り組みのご提案（講座案内） ○総合窓口課 住民記録第2グループより マイナンバー申請手続きにおけるお願い ○福祉総務課 災害対策グループより 個別避難計画について
第5回	8月20日 オンライン 開催	○つなげるシートの説明と依頼 ○東京都健康長寿医療センター 脳外科医より 「水頭症かもしれません」講座と周知
第6回	9月17日	○つながるサロン勉強会のお知らせ ○介護予防支援業務「再委託」「指定」の居宅とのかかわり ○障害福祉課 心身障害者福祉センターより 中途障がい者のリハビリ事業
第7回	10月15日 オンライン 開催	○令和6年度健康状態不明者把握事業実施報告 ○見守り協定事業者意見交換会の実施について ○セカンドライフ応援講座・相談会について
第8回	11月19日	○年末年始の緊急対応想定リストの作成について ○介護予防支援業務（居宅指定）の運用におけるモデル実施に ついて ○生活福祉課 管理グループより 豊島区被保護者等自立促進事業、生活保護チラシについて
第9回	12月17日 オンライン 開催	○元気はつらつ報告会・評価検討会について ○子ども家庭部子ども家庭支援センターより ヤングケアラー支援についての情報提供 ○介護保険課 認定審査グループより マイナ保険証移行に伴う第2号被保険者の医療保険加入の 確認について ○介護保険課 相談グループより 介護保険苦情受付のシステム変更について

第10回	1月21日	<ul style="list-style-type: none"> ○「高齢者虐待防止法」第13条に基づく面会の制限の取り扱いについて ○生活支援推進員の活動報告会について ○SMBC 三井住友フィナンシャルグループより 介護支援 新サービス構想・包括ヒアリングのお願い
第11回	2月18日 オンライン 開催	<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年度介護予防把握事業の最終結果報告 ○委託連携加算について ○令和7年度受託届の電子申請への変更について
第12回	3月18日	<ul style="list-style-type: none"> ○成年後見制度申立助成事業について ○夜間緊急・休日電話相談窓口の実績と運用方法について ○介護保険課 認定審査グループより 令和7年4月から運用「介護保険要介護認定申請書改訂版」 ○東京弁護士会より 訪問販売お断りステッカー配付促進について

(3) 包括専門職部会

① 社会福祉士部会

2か月に1回、2時間程度実施している。成年後見制度、虐待対応等における検討、事例検討を行った。意見交換においては、専門職としてのスキルアップを図った。

回	実施日	内容
第1回	5月16日	<ul style="list-style-type: none"> ○豊島区の虐待通報の流れについて ○今年度取り組みたいテーマについて ○意見交換
第2回	7月18日	<ul style="list-style-type: none"> ○サポートとしま中核機関・新規事業について ○成年後見制度について ○意見交換
第3回	9月19日	<ul style="list-style-type: none"> ○成年後見制度について ○事例検討（事例提供：東部包括）
第4回	11月21日	<ul style="list-style-type: none"> ○虐待マニュアル作成検討 ○各包括のヒアリングについての情報共有 ○意見交換
第5回	1月16日	<ul style="list-style-type: none"> ○虐待マニュアル（フロー図）について ○事例検討（事例提供：いけよんの郷） ○来年度の社会福祉士部会について

② 医療職部会

3か月に1回、2時間程度実施している。課題に基づき、包括および課内、在宅医療相談窓口、保健所、障害福祉課、地域の医療機関等との連携を推進している。

回	実施日	内容
第1回	5月24日	○災害時における医療・介護連携について ○健康状態不明者把握事業の実施報告
第2回	8月23日	○地域ケアグループの事業・健康長寿アウトリーチチーム事業について ○初期集中支援チーム事業について（各包括で現状の情報共有・意見交換） ○東京都看護協会の地域包括医療職研修報告「地域包括支援センターの看護職の役割（基礎編）」
第3回	11月22日	○初期集中支援チーム事業について（豊島区の事業の現状と方向性について説明・意見交換） ○東京都看護協会の地域包括医療職研修報告「地域診断」 ○事業や業務等についての意見交換 ○つなげるシート運用ルールの確認
第4回	2月28日	○認知症のある高齢者・家族支援 ○東京都看護協会の地域包括医療職研修報告「セルフネグレクト事例で考える権利擁護・倫理的課題」 ○次年度の年間計画・運営方法について

③ 主任ケアマネジャー専門部会

ケアマネジャーの資質向上と主任ケアマネジャーの育成を目的として、2か月に1回実施している。前年度より検討している『ケアマネジャーの地域課題』について①行政と協議が必要な事項（高齢者福祉課長へ報告）②ケアマネジャー間の協議・検討で解決できる事項（豊島区介護支援専門員連絡会へ報告）③ケアマネジャーと包括間で解決すべき事項（地区懇談会で協議）の3項目に分け整理を行った。また、暫定プランについて運用を見直し、高齢者福祉課への提言を行った。

回	実施日	内容
第1回	4月12日	○ケアマネジャーの地域課題の整理 ○整理内容の活用方法検討 ○高齢者福祉課長への報告（5月14日）
第2回	6月12日	○豊島区介護支援専門員連絡会との意見交換 ○今後の活動について
第3回	8月27日	○ケアマネジャーと包括間で解決すべき事項の検討 ○下半期の活動計画について

回	実施日	内容
第4回	12月20日	○ケアマネジャーの抱える業務に関する報告 ○暫定（予防）ケアプラン作成時における運用方法の変更
第5回	2月20日	○ケアマネジャー地域課題の整理に関する意見交換 ○暫定（予防）ケアプラン作成時における運用方法の変更 ○来年度の部会運営計画について

④ プランナー部会

専門職としてのスキルアップや自立支援に特化したプランナーの専門性の向上や情報共有・連携の強化を目的に、勉強会を含め年間5回開催した。

回	実施日	内容
第1回	6月11日	○令和6年度年間計画について ○事例検討会や勉強会の持ち方について
第2回	9月3日	○事例検討会 権利擁護の事例 ○サポートとしまより、権利擁護の勉強会
第3回	12月4日	○ケアマネジメント全般や総合事業について不明点のまとめ ○介護予防支援介護予防ケアマネジメント作成研修について
第4回	1月16日	○総合事業について 不明点のまとめについて、確認と情報共有
第5回	2月13日	○事例検討会 65歳到達により介護保険へ移行の事例（精神） ○障害福祉課精神障害者福祉グループより 制度の勉強会

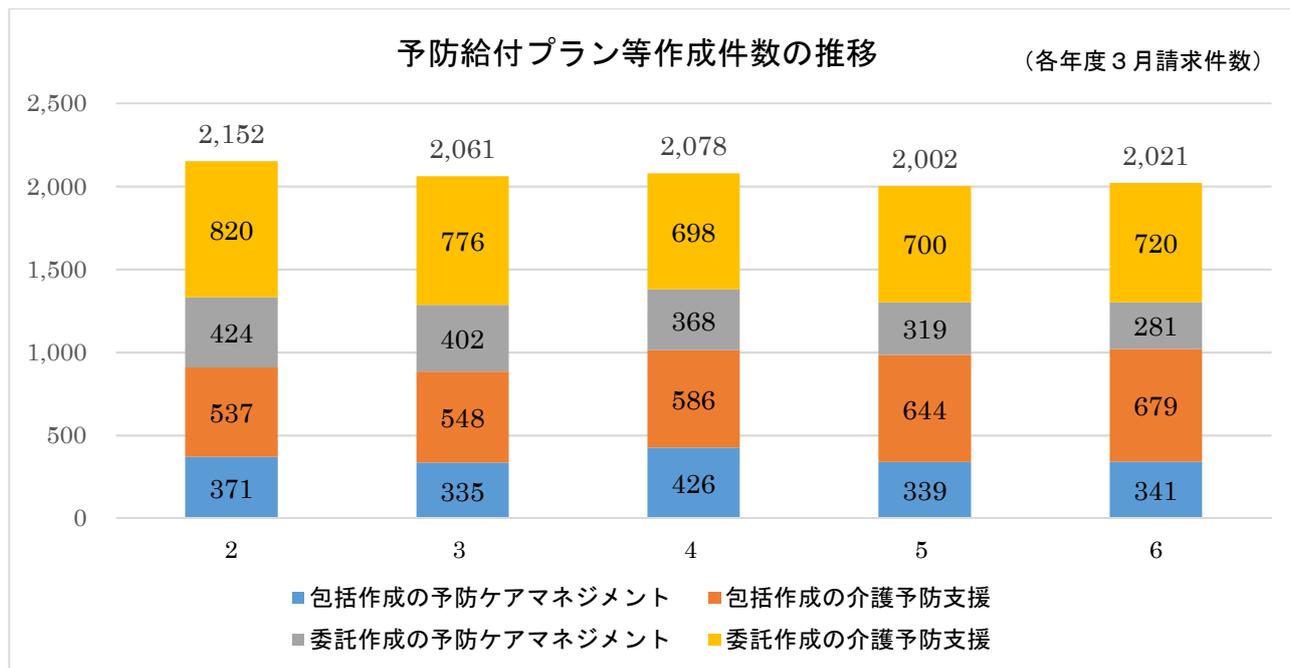
⑤ 見守り支援事業担当者連絡会

令和6年度は今までの連絡会を継承し、2か月に1回、2時間程度開催した。事務連絡の他、見守り支援担当者間の情報共有の場となっている。

回	実施日	内容
第1回	4月11日	○令和6年度見守り担当者紹介 ○熱中症対策事業と実態調査について ○意見交換会の内容
第2回	6月20日	○熱中症対策訪問における WINCARE への入力等について ○高齢者実態調査の対応等について ○見守り協定締結事業者との意見交換会について
第3回	8月22日	○元気はつらつ訪問による「見守りのアセスメント強化」について ○高齢者実態調査の後追いについて ○見守り協定締結事業者意見交換会（事例検討の議題）について ○熱中症対策事業、高齢者実態調査について

回	実施日	内容
第4回	10月24日	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者実態調査の後追いについて ○見守り協定締結事業者意見交換会について ○事例検討
第5回	12月19日	<ul style="list-style-type: none"> ○見守り協定締結事業者との意見交換会について ○実態調査後後追いについて ○次年度の熱中症訪問について ○アウトリーチマニュアルの見直しについて
第6回	2月27日	<ul style="list-style-type: none"> ○見守り事業担当者と各種事業・関係機関との連携について ○令和7年度熱中症訪問、今後の高齢者実態調査について ○令和7年度見守り連絡会の日程について

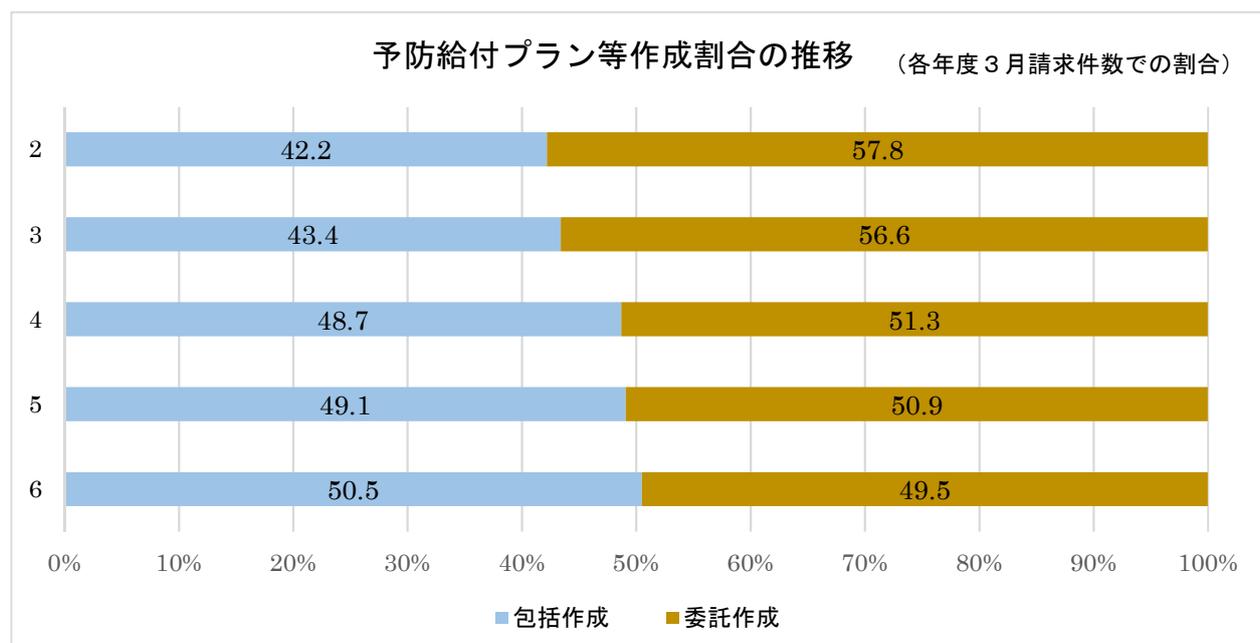
(4) 予防給付プラン等請求実績について（令和2年度～令和6年度）



平成28年度から総合事業が開始となり、総合事業のみを利用した場合は介護予防ケアマネジメントとなる。

令和6年度の豊島区予防給付プラン等請求件数は、令和7年3月時点で2,021件である（令和5年度は2,002件）。このうち、地域包括支援センター作成が1,020件（50.5%）、居宅介護支援事業者に委託しての作成が1,001件（49.5%）である。全体件数は微増となっており、包括作成の割合が増加している。

※上記件数には令和6年度法令改正による包括以外の事業所が直接実施している介護予防支援の件数は含まれていない。



4. 認知症対策について

(1) 包括が関連する認知症支援事業 実施状況

① もの忘れ相談（定期相談）

地域包括支援センター	相談件数	相談経路			年齢				判断	
		本人	家族	その他	65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	認知症 認知症疑い	その他
菊かおる園	4	2	2	0	0	0	2	2	2	2
東部	4	3	1	0	0	1	2	1	2	2
中央	5	1	4	0	0	0	3	2	4	1
ふくろうの杜	2	2	0	0	0	0	1	1	1	1
豊島区医師会	4	3	1	0	0	1	2	1	2	2
いけよんの郷	3	1	2	0	0	0	2	1	2	1
アトリエ村	4	2	1	1	0	1	1	2	1	3
西部	3	3	0	0	0	0	2	1	1	2
合計	29	17	11	1	0	3	15	11	15	14

② もの忘れ相談（随時対応相談）

地域包括支援センター	相談件数	相談経路			年齢				判断	
		本人	家族	その他	65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	認知症 認知症疑い	その他
菊かおる園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中央	5	2	2	1	0	1	1	3	5	0
ふくろうの杜	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0
豊島区医師会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いけよんの郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アトリエ村	2	1	1	0	0	0	0	2	2	0
西部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8	3	4	1	0	1	1	6	8	0

③ 認知症介護者支援事業・認知症普及啓発（認知症サポーター養成講座、認知症ライフサポート研修）

地域包括支援センター	認知症介護者支援講座	認知症サポーター養成講座	認知症の地域づくり推進事業(※)		
			本人ミーティング	認知症の人と家族の一体的支援プログラム	認知症介護者の会
菊かおる園	—	1回	0回	0回	0回
東部	—	2回	0回	0回	0回

中央	—	6回	0回	2回	12回
ふくろうの杜	1回	0回	2回	0回	9回
豊島区医師会	1回	2回	0回	0回	10回
いけよんの郷	1回	3回	0回	0回	0回
アトリエ村	1回	2回	0回	1回	0回
西部	—	5回	12回	1回	12回
合計	4回	21回	14回	4回	43回

※認知症の地域づくり推進事業は見守り担当の出席回数も含む

④ 認知症初期集中支援チーム実績

地域包括支援センター	件数
菊かおる園	3
東部	4
中央	3
ふくろうの杜	3
豊島区医師会	1
いけよんの郷	1
アトリエ村	4
西部	4
合計	23

(2) 総合事業等

事業名		事業概要	利用件数
基本チェックリスト		25 の質問項目により日常生活に必要な生活機能が低下していないかを調べ、該当者は介護予防・生活支援サービス事業の利用につなげる。 対象：65 歳以上の区民	実施数 145 件 事業該当者 136 件
訪問型サービス事業	介護予防訪問事業	ホームヘルパーが自宅に訪問して、利用者が自立した生活を営めるよう、生活援助や身体介護をする。 対象：要支援 1・2	825 件
	訪問型サービス A	ホームヘルパーが自宅に訪問して、利用者が自立した生活を営めるよう、生活援助や簡易な身体介護をする。家事援助のみの場合は区研修修了者により支援することもできる。 対象：要支援 1・2	6,807 件 (高額介護予防サービス費相当事業費を含む)
	生活支援お助け隊（訪問型サービス B）	区で実施する研修修了者が自宅に訪問して、掃除等の簡易な家事援助をすることで利用者の自立した生活を支援する。 対象：要支援 1・2 及び 65 歳以上の基本チェックリスト該当者	23 件 (実人数)

事業名		事業概要	利用件数
	短期集中訪問型サービス事業（訪問型サービスC）	3～6か月の期間で、リハビリテーション専門職等からリハビリテーション、口腔ケア、低栄養改善などのアドバイスを受けて、日常生活機能の向上に取り組む。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	リハビリテーション 179件 口腔ケア 2件 低栄養改善 17件 (実人数)
通所型サービス事業	介護予防通所事業	デイサービスなどで、介護予防を目的とした運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上などの選択的なサービスを日帰りで見られる。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	9,106件
	通所型サービスA	リハビリに特化したプログラムにより、運動機能を維持・改善させ、自立した日常生活を送れるようサポートする。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	226件
	としま入浴通所サービス	自宅での入浴が困難な方が、必要な介助や見守りのもと入浴に特化したサービスを受ける。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	414件
	つながるサロン（通所型サービスB）	自宅や区施設などで体操や会食をしている自主グループによる活動（サロン）へ参加し、心身の活力の低下を予防する。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	1,224件 (実人数)
	短期集中通所型サービス事業（通所型サービスC）	リハビリ又は栄養改善などが必要な方を対象に、介護予防センターなどで3か月間週1回程度、専門職によるアドバイスを受けながら体操や会食をして日常生活機能の向上に取り組む。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	103件 (実人数)

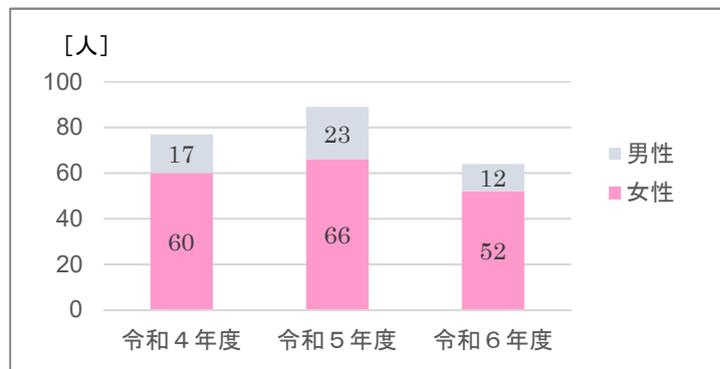
5. 高齢者虐待について

(1) 高齢者虐待受理状況の推移（地域包括支援センター等から受理した件数）

令和4年度～令和6年度（令和7年3月末時点）

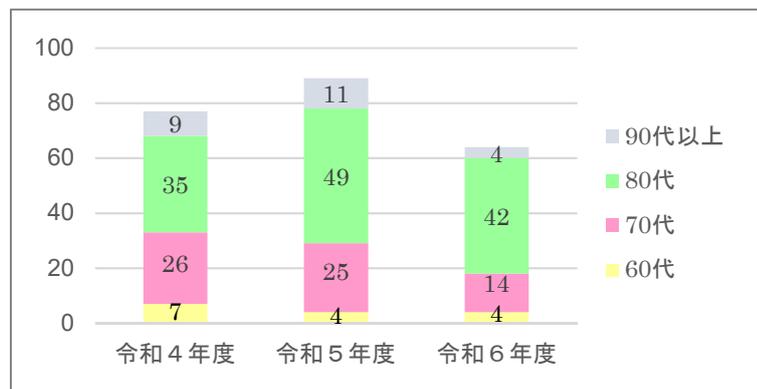
① 被虐待者の内訳（男女別）

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性	17	22.1%	23	25.8%	12	18.8%
女性	60	77.9%	66	74.2%	52	81.3%
合計	77	100.0%	89	100.0%	64	100.0%



② 被虐待者の内訳（年齢別）

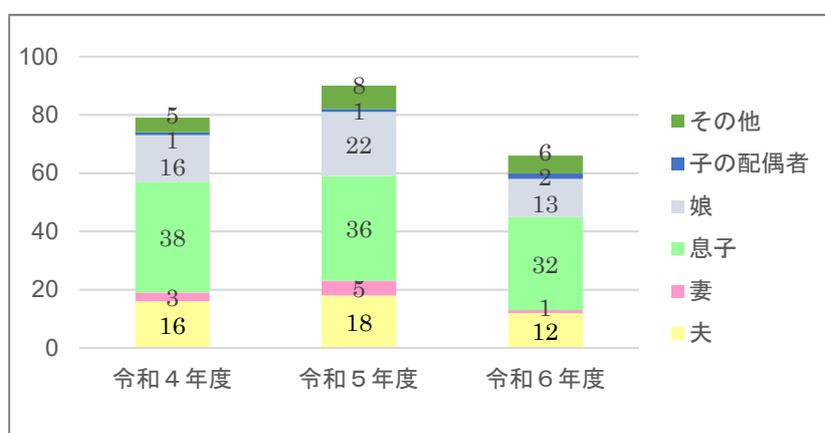
	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
60代	7	4.1%	4	4.5%	4	6.3%
70代	26	38.4%	25	28.1%	14	21.9%
80代	35	41.1%	49	55.0%	42	65.6%
90代以上	9	16.4%	11	12.4%	4	6.3%
合計	77	100.0%	89	100.0%	64	100.0%



③ 主たる虐待者（重複あり）

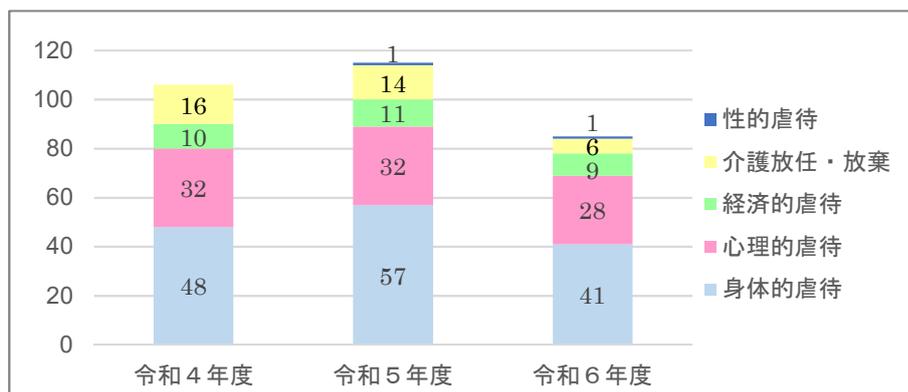
	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
夫	16	20.3%	18	20.0%	12	18.2%
妻	3	3.8%	5	5.6%	1	1.5%
息子	38	48.1%	36	40.0%	32	48.8%
娘	16	20.3%	22	24.4%	13	19.7%
子の配偶者	1	1.3%	1	1.1%	2	3.0%
その他※	5	6.4%	8	8.8%	6	9.0%
合計	79	100.0%	90	100.0%	66	100.0%

※元夫、孫、兄弟姉妹、甥



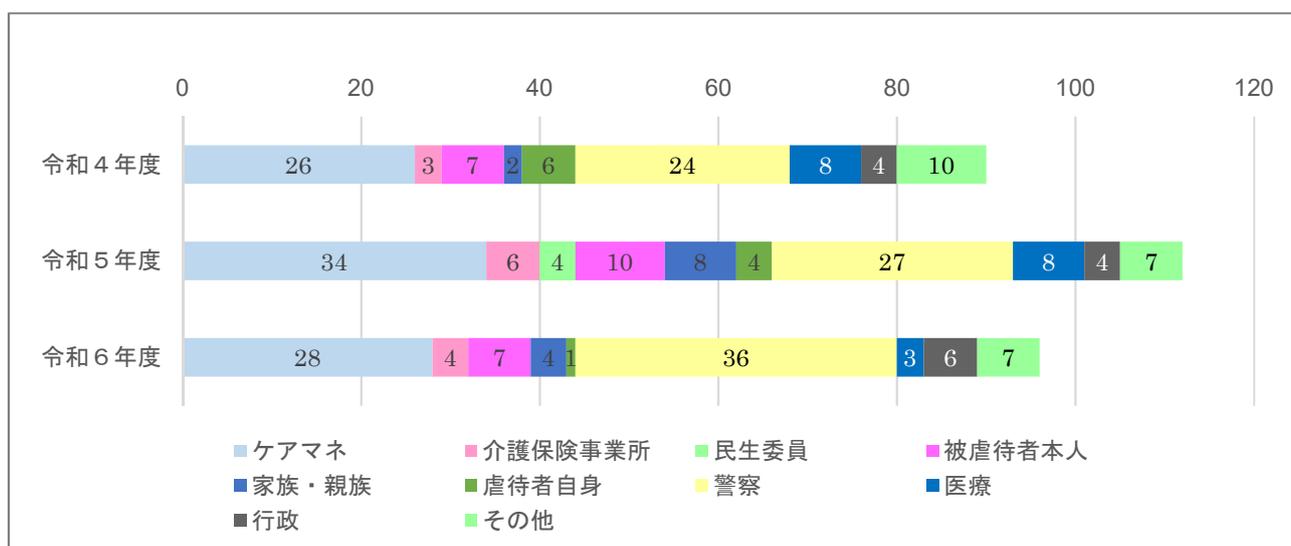
④ 虐待の種類（重複あり）

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
身体的虐待	48	62.3%	57	64.0%	41	64.1%
心理的虐待	32	41.6%	32	36.0%	28	43.8%
経済的虐待	10	13.1%	11	12.4%	9	14.1%
介護放任・放棄	16	20.8%	14	15.7%	6	9.4%
性的虐待	0	0.0%	1	1.1%	1	1.6%
合計	106	100.0%	115	100.0%	85	100.0%



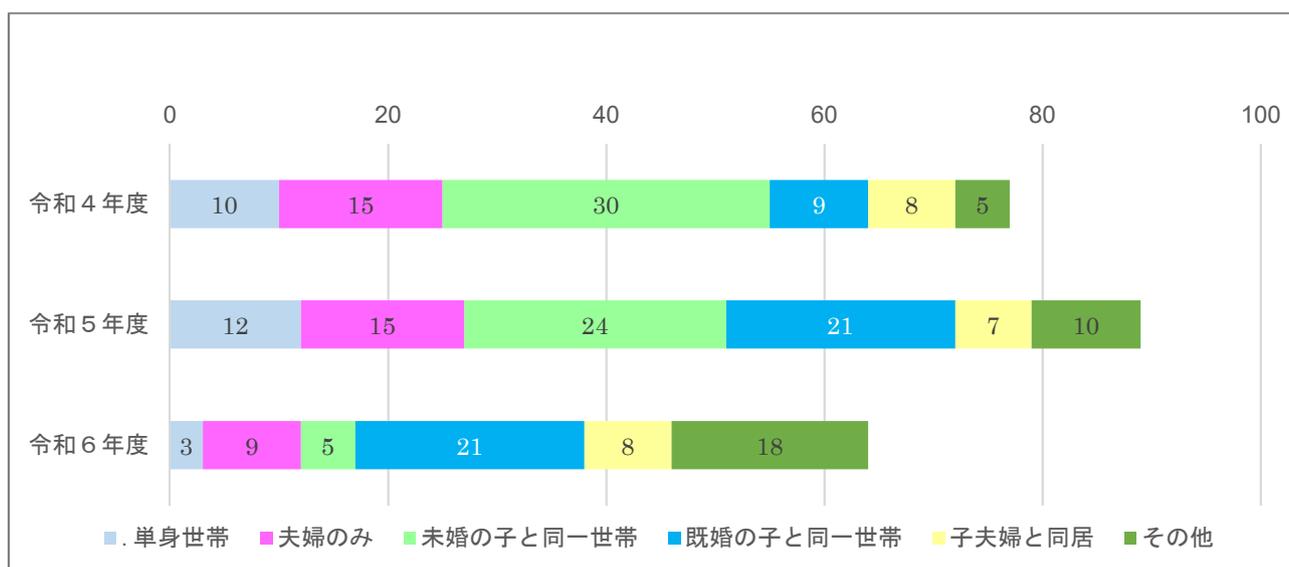
⑤ 通報・届出者（重複あり）

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ケアマネ	26	29.9%	34	29.8%	28	29.2%
介護保険事業所	3	3.4%	6	5.3%	4	4.2%
民生委員	0	0.0%	4	3.5%	0	0.0%
被虐待者本人	7	8.0%	10	8.8%	7	7.3%
家族・親族	2	2.3%	8	7.0%	4	4.2%
虐待者自身	6	6.9%	4	3.5%	1	1.0%
警察	24	27.6%	27	23.7%	36	37.5%
医療	8	9.2%	8	7.0%	3	3.1%
行政	4	4.6%	4	3.5%	6	6.3%
その他	10	14.1%	7	8.0%	7	7.3%
合計	90	100.0%	112	100.0%	96	100.0%



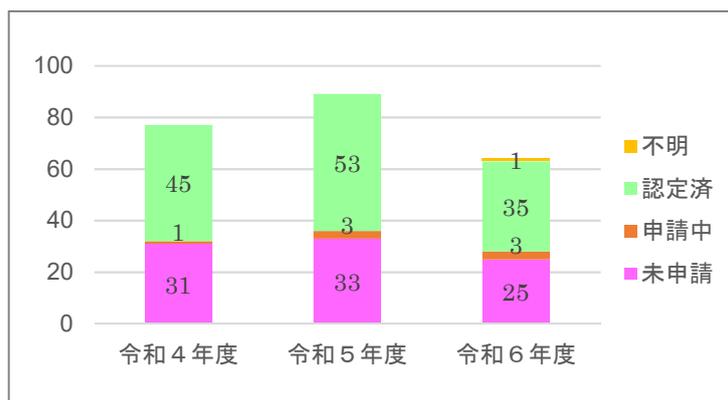
⑥ 世帯構成

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
単身世帯	10	13.0%	12	13.5%	3	4.7%
夫婦のみ	15	19.5%	15	16.9%	9	14.1%
未婚の子と同一世帯	30	39.0%	24	27.0%	5	7.8%
既婚の子と同一世帯	9	11.7%	21	23.6%	21	32.8%
子夫婦と同居	8	10.4%	7	7.9%	8	12.5%
その他	5	6.5%	10	11.2%	18	28.2%
合計	77	100.0%	89	100.0%	64	100.0%



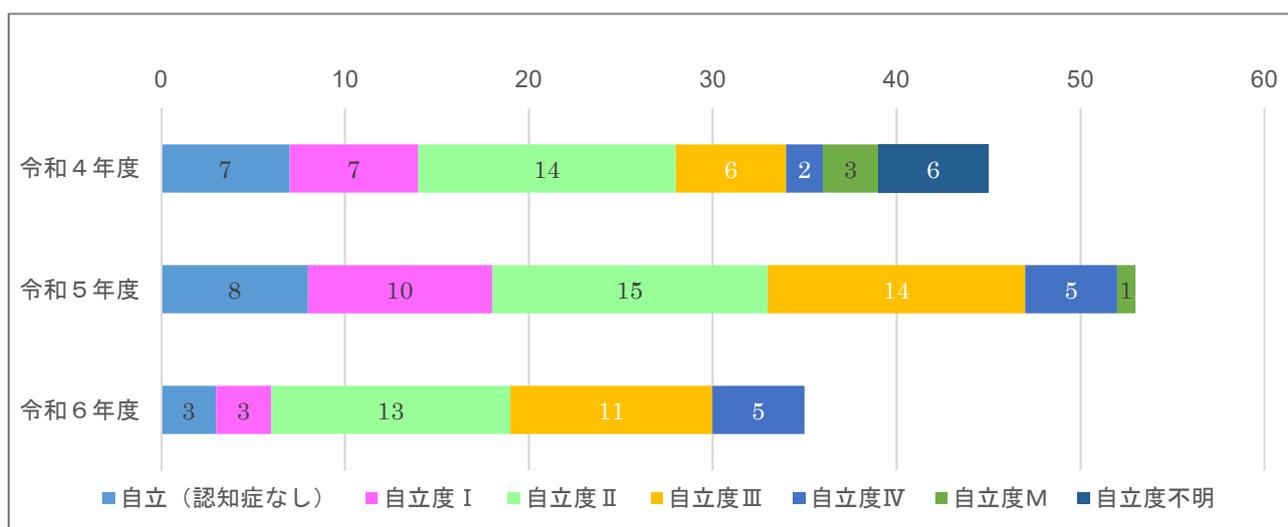
⑦ 被虐待者の介護保険の申請状況

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
未申請	31	40.3%	33	37.1%	25	39.1%
申請中	1	1.3%	3	3.4%	3	4.7%
認定済	45	58.4%	53	59.6%	35	54.7%
不明	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
合計	77	100.0%	89	100.0%	64	100.0%



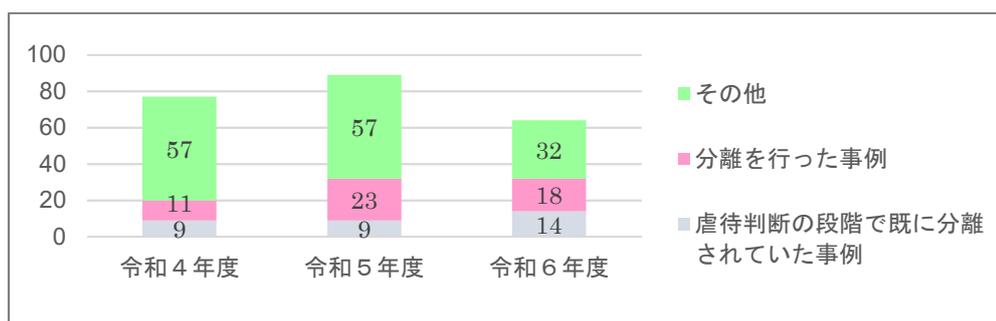
⑧ 認定済み者の認知症日常生活自立度

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自立(認知症なし)	7	15.6%	8	15.1%	3	8.6%
自立度Ⅰ	7	15.6%	10	18.9%	3	8.6%
自立度Ⅱ	14	31.1%	15	28.3%	13	37.1%
自立度Ⅲ	6	13.3%	14	26.4%	11	31.4%
自立度Ⅳ	2	4.4%	5	9.4%	5	14.3%
自立度M	3	6.7%	1	1.9%	0	0.0%
自立度不明	6	13.3%	0	0.0%	0	0.0%
合計	45	100.0%	53	100.0%	35	100.0%



⑨ 対応状況

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
虐待判断の段階で既に分離されていた事例	9	11.7%	9	10.1%	14	12.7%
分離を行った事例	11	14.3%	23	25.8%	18	16.4%
その他	57	74.0%	57	64.1%	32	70.9%
合計	77	100.0%	89	100.0%	64	100.0%



※内訳（重複あり）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	件数	件数	件数
養護者に対する助言	32	21	35
養護者が介護負担軽減のための事業に参加	2	3	6
新たに介護保険サービスを利用	13	6	9
介護保険サービスのケアプランの見直し	26	5	14
介護保険サービス以外のサービスを利用	6	3	10
経過観察(見守り)	40	23	19
その他	24	13	28

(2) 認知症・虐待専門対応事業の実施状況

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	回数	件数	回数	件数	回数	件数
高齢者こころの相談	12	19	18	24	13	14
高齢者虐待専門ケア会議	12	26	12	26	12	25
要介護高齢者援助スタッフ専門相談	12	23	12	24	11	20